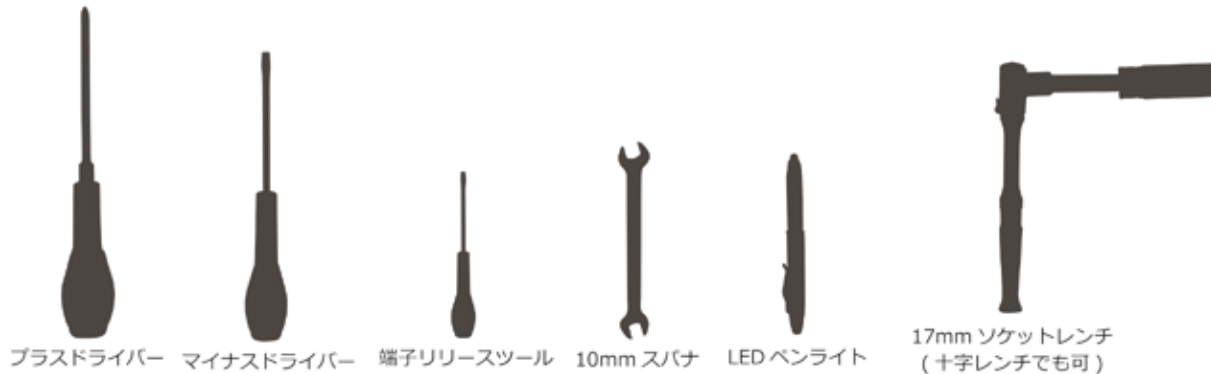


# MAZDA ROADSTER (ND)/ABARTH 124 Spider

## DAMD パフォーマンスステアリングホイール DPS358-M 取付け手順 及び DPS 通信システム結線説明書

### 必要工具



**\* 取付け時のご注意 \***

- 必ず平坦な場所で取付けを行って下さい。
- ステアリングはタイヤが真っ直ぐになるように調整してからイグニッションスイッチ OFF にし、作業に取り掛かってください。
- エアバッグを外した状態でイグニッションスイッチ ON にすると警告が出る場合がございます。この場合は、エアバッグを戻しエンジンをかけて時間をとおくと初期状態に戻ります。



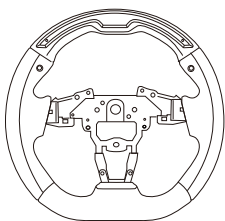
車両側、及びステアリング側の DPS への電源取付につきましては、車種、年式、グレード等で空きコネクタの位置が異なる場合があります。テスターで車両側、及びステアリング側の空き端子の導通を確認後メス端子をコネクタに挿入してください。

部品仕様	① DPS本体 *1	1
	② OBDIIコネクタ・送信部	1
	③ WIFI受信部	1
	④ 結束バンド / 配線固定フック	5本 / 2
	⑤ アース用M5x10ボルト/ナット	1
	⑥ 電源部ハーネス	1
	⑦ 2Aマイクロヒューズコネクタ	1
	⑧ 電源部4Pハーネス	1
	⑨ コラムハーネス	1

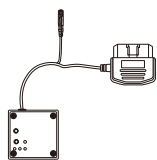
\*1:DPS=DAMD パフォーマンス ステアリングホイール

DPS Display Items											
CAR/TYPE	車速	回転数	スロットル開度	吸気圧	吸気温度	油温	水温	瞬間燃費	電圧	外気温度	シフトインジケータ
(ND)ROADSTER 2016	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	回転数表示
124 SPIDER 2018	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	回転数表示

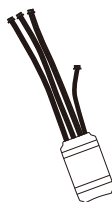
①DPS本体



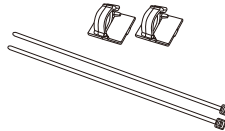
②OBDIIコネクタ・送信部



③WIFI受信部



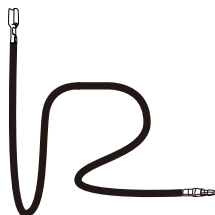
④結束バンド / 配線固定フック



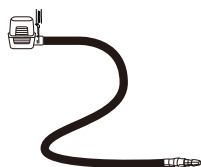
⑤アース用M5x10ボルト/ナット



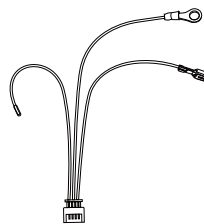
⑥電源ハーネス



⑦2Aマイクロヒューズコネクタ



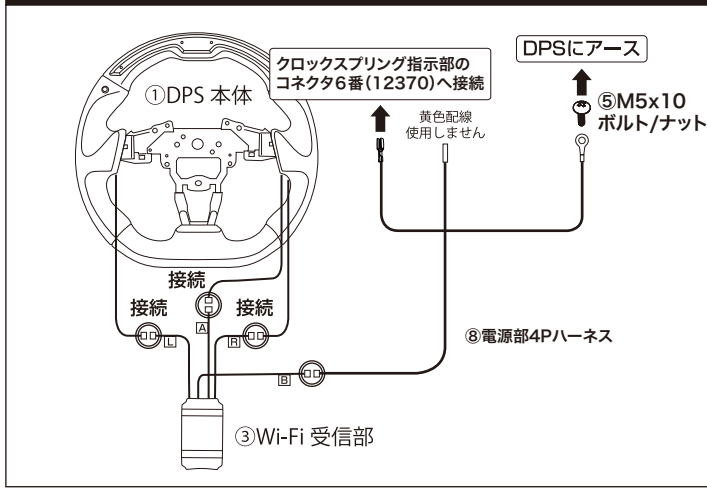
⑧電源部4Pハーネス



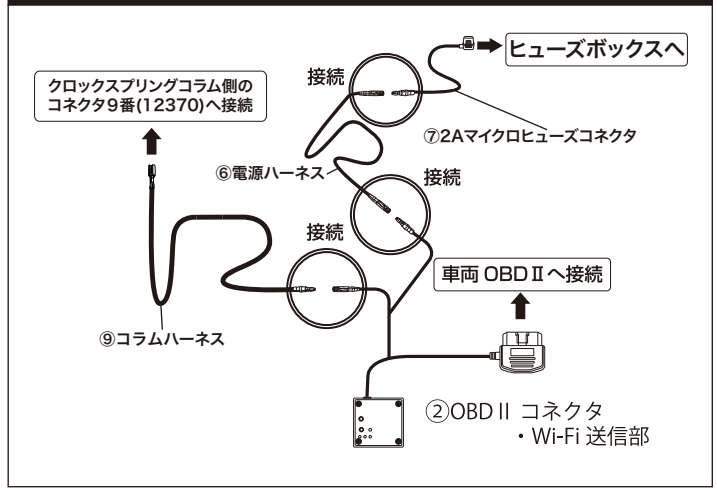
⑨コラムハーネス



## 受信部配線概要図



## 送信部配線概要図



\* 上記配線概要図及び電源接続位置を参考に、取付作業全体の工程を理解してから作業して下さい。

## 製品装着(受信部)

手順1: 付属の SS358-M 取付説明書を参考に現在装着されているステアリングを取り外します。  
純正ステアリングスイッチの組み付けを行ってから DPS へ配線していきます。

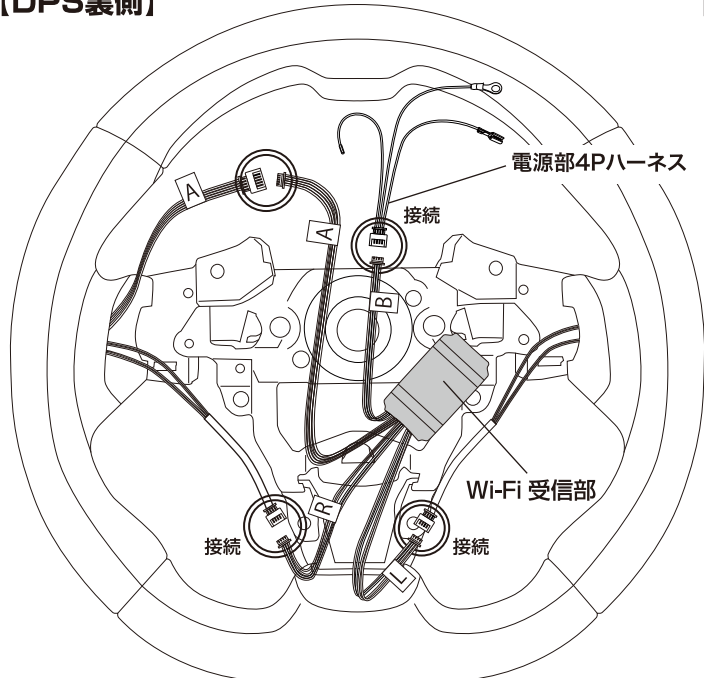
手順2: ①DAMD パフォーマンス ステアリングホイール (以降 DPS) 裏側から出ている配線と、③Wi-Fi 受信部の配線を接続します。  
Wi-Fi 受信部の [L][R] 表記の配線と、DPS 裏側左右から出ている赤・青配線コネクタを接続します。[L]には装着した時の助手席側(左)と接続し、[R]には装着した時の運転席側(右)を接続します。さらに Wi-Fi 受信部の [A] 表記の配線と、DPS 裏側から出ている [A] 表記の配線と接続します。【下図参考】

手順3: 手順2にて接続したWi-Fi受信部の [B] 表記の配線と、付属の⑧電源部4Pハーネスを接続します。  
上記の受信部配線概要図を参考に、適合したステアリング側4Pハーネスを接続します。

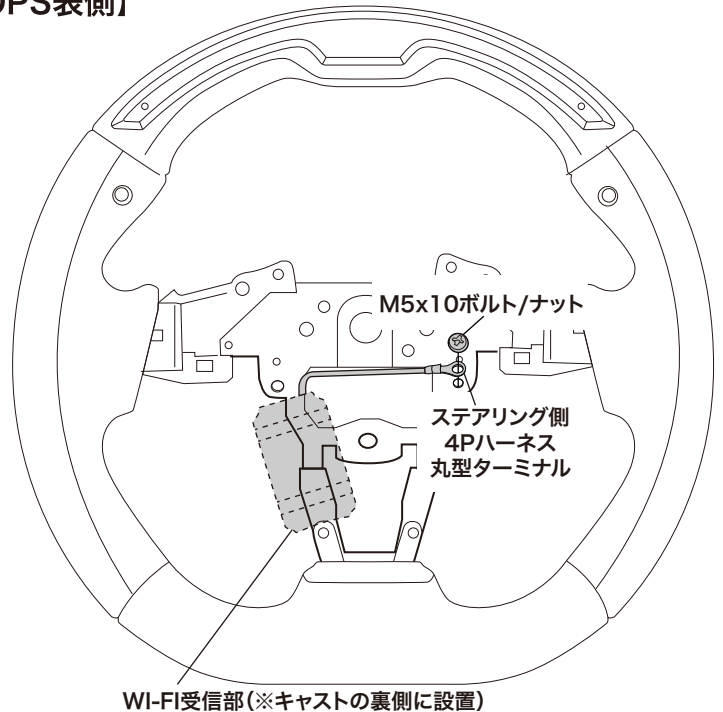
手順4: 手順3にてDPSと接続した電源ハーネスのアース線(黒の丸型ターミナル)をDPS中央部右側に付属の⑤M5x10ボルト/ナットにて固定します。

手順5: 先の手順にて接続した各ケーブルハーネスと③Wi-Fi受信部をエアバックのホーンスプリング部分に噛み込まないようにまとめて、DPSダイキャスト部分よりも前に配線類が出ないように付属の④結束バンド / 配線固定フックにて固定し、DPSを車体に取り付けます。

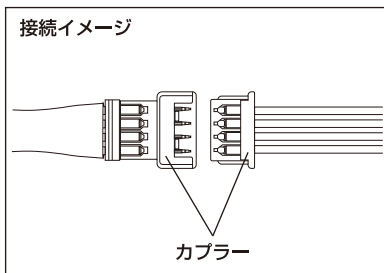
## 【DPS裏側】



## 【DPS表側】



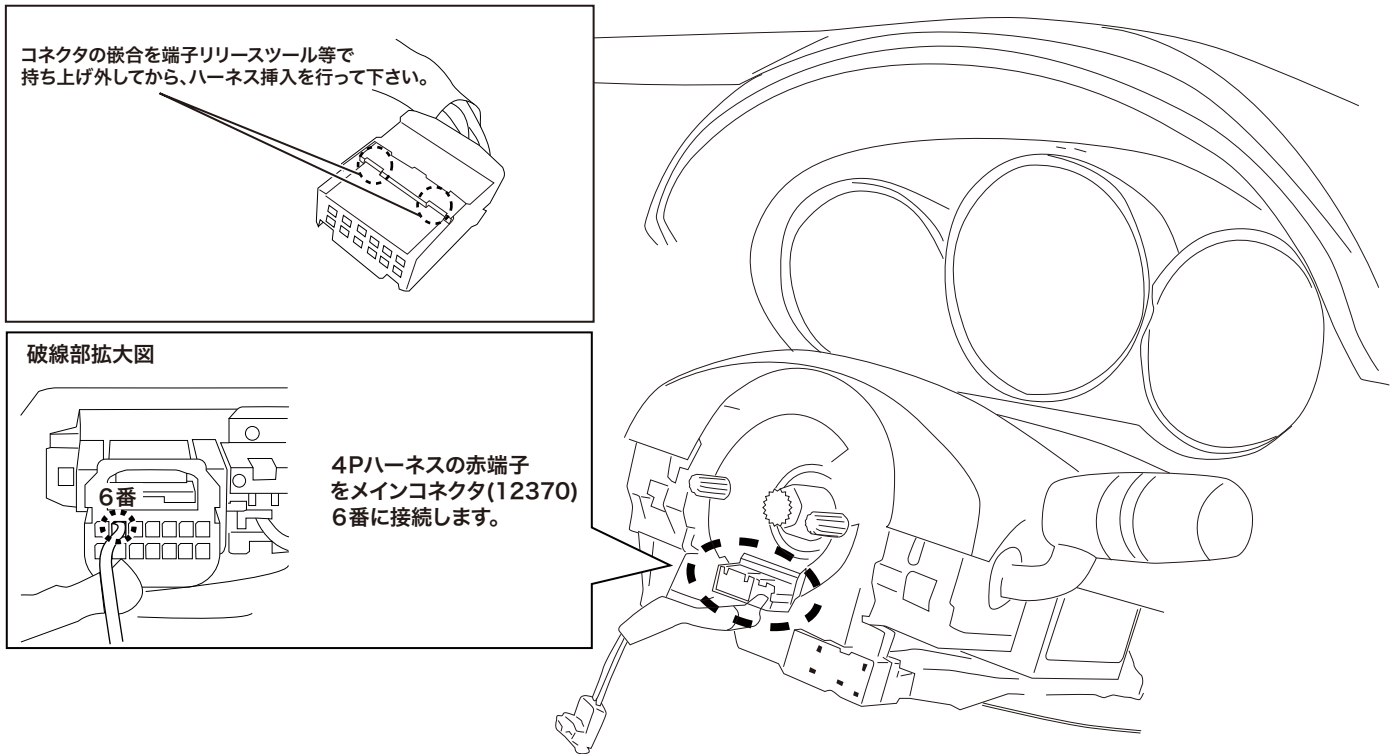
### 接続イメージ



## 製品装着(受信部)

手順6:ステアリングホイール側メインコネクタ(12370)6番へ付属配線の電源部4Pハーネスの赤端子を接続します。

※図は、説明の為にステアリングが無い状態です。実際にはステアリングが装着されている状態ですので、ご了承下さい。



手順7:エアバッグコネクタ及びホーン信号端子をエアバッグに取り付、DPSにエアバッグを取り付けます。

※戻す順番はSS358-M取付説明書に従い、①エアバッグコネクタ→②エアバッグ安全ピン→③ホーン信号端子の順番で戻して下さい。

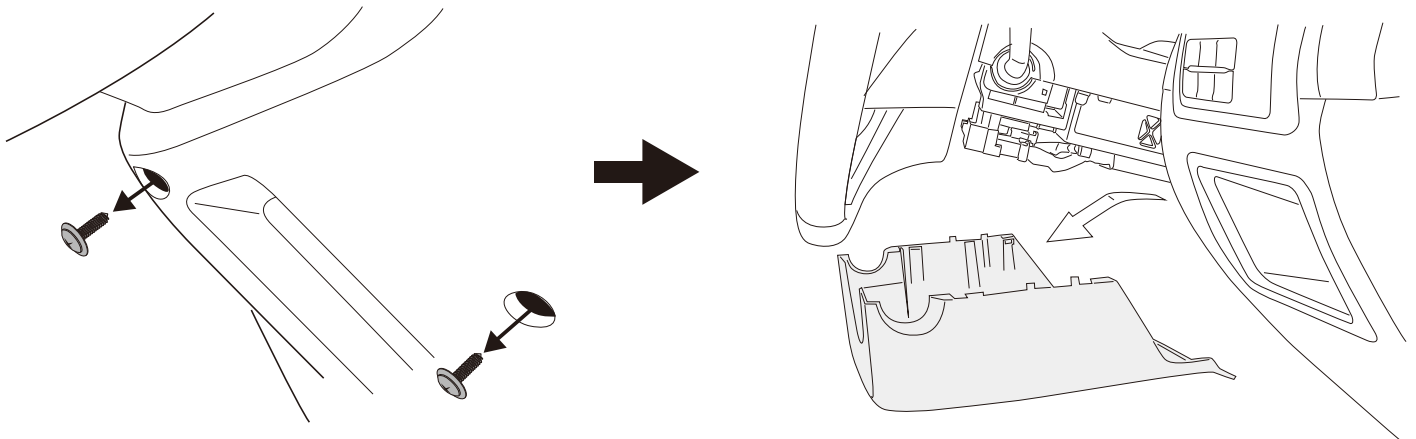
## 製品装着(送信部)

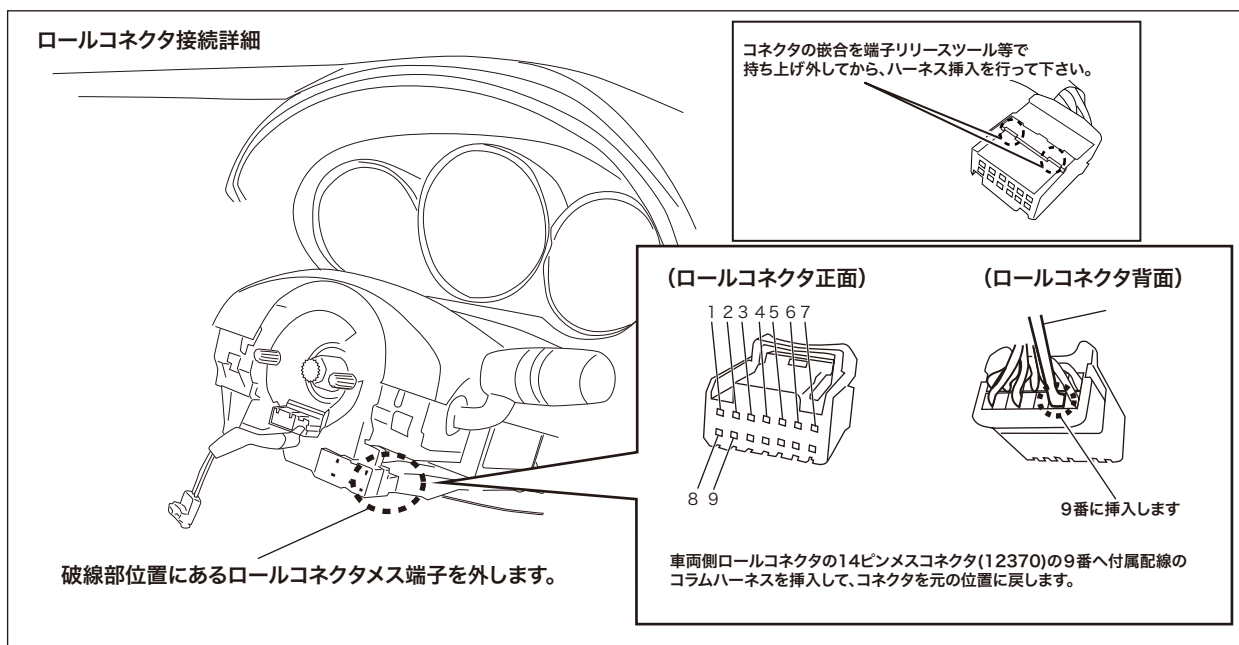
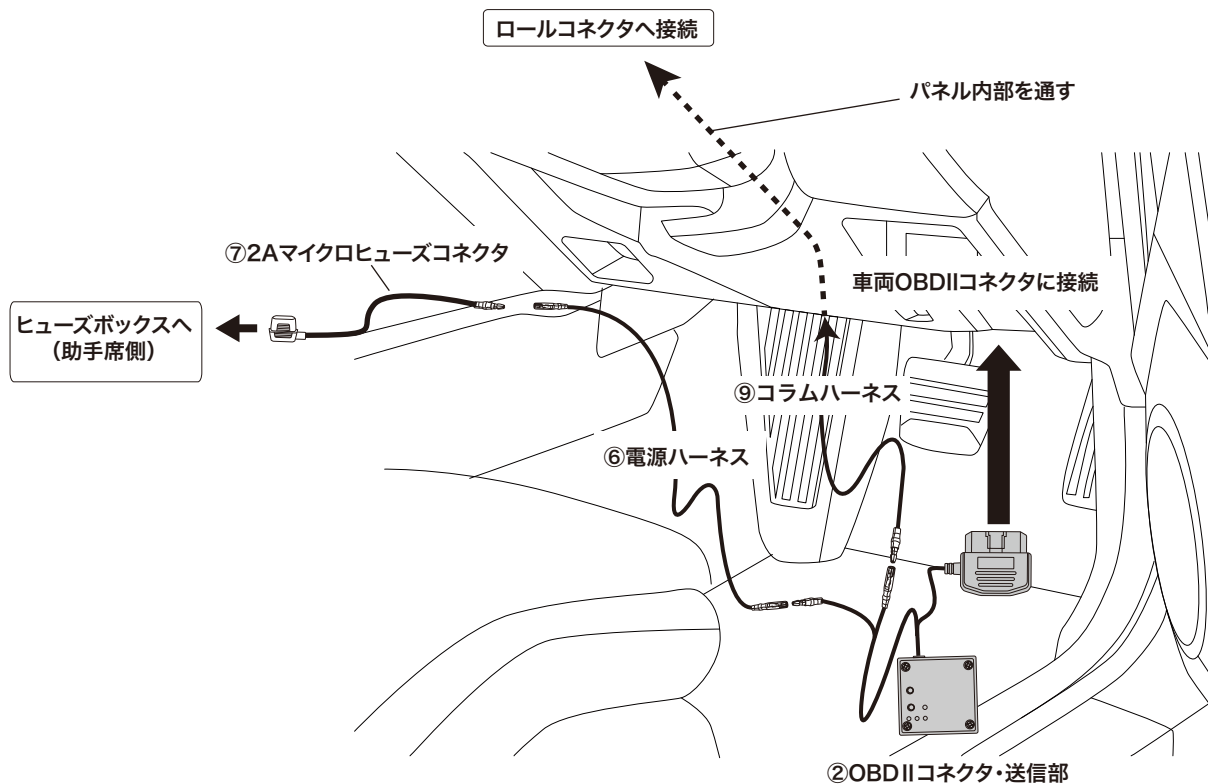
手順8:ステアリング後方のコラムカバーのビスを2ヶ所外し、チルトレバーを下げ、カバーを取外します。

この時点で送信部とOBDIIを装着し、

付属の送信部ギボシ雌端子とコラムハーネスギボシ雄端子を繋ぎ、コラムハーネスをコラムカバーまで通し配線します。

電源ハーネス雌端子を送信部雄端子と繋ぎ、付属の2Aヒューズは雄端子を電源ハーネスと繋いでからコネクタ側をパッセンジャーシート足下左にあるヒューズボックスアクセサリと接続します。





手順9: バッテリーマイナス側を元に戻します。

手順10: イグニッションボタンでエンジンを始動させDPSの作動確認を行います。作動確認が完了したら取外したコラムカバーを元に戻し取り付け終了です。付属の取り扱い説明書に従い(チャンネル設定、輝度調整、Gセンサー設定、ピーク回転数の設定など)各設定を行って下さい。

**DPSには展示モード・デモモード・通常モードの作業環境がプリセットされています。**

- 初期の設定は、展示モード(ステアリング側の受信送信機に12Vを通电すると自動で各表示項目を順に作動しながら表示していきます。)
- デモモードは、(ステアリング側の受信送信機に12Vを通电すると左右の操作ボタンで各ファンクションを操作する事が出来ます。)
- 通常モードは、車両に装着した状態でステアリング側の送受信機と車両側の送受信機がWi-Fiにてペアリングした状態で作動します。
- 初期設定からデモモード⇒通常モードに変更するには、ステアリングの左右のボタンを同時押ししながら、車両のスターターボタンを押す事で切替え出来ます。
- 誤作動を防ぐ為に、1人では切替えが出来ない構造となっています。ドライバーとアシスタント2人で設定して下さい。
- 順次各モードに切替わります。Wi-Fiがペアリングしない場合はスターターボタンのスタート・ストップを繰り返して下さい。  
\*車両の外部環境の電気ノイズ、電波障害などによりWi-Fiがペアリングしない場合は、車両を移動して再度行って下さい。

# MAZDA ROADSTER/ABARTH 124 Spider専用 DAMD スポーツステアリングホイール SS358M 取付け手順

## 必要工具



プラスドライバー



マイナスドライバー



10mm スパナ



LED ペンライト



2.1mm ソケットレンチ  
(十字レンチでも可)

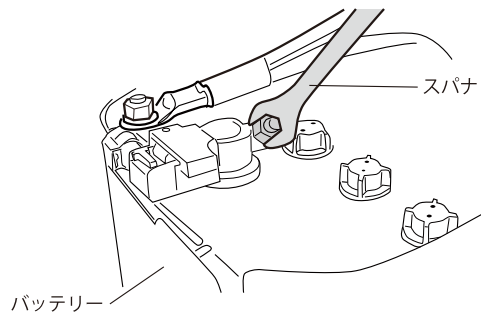


**\* 取付け時のご注意 \***

- 必ず平坦な場所で取付けを行って下さい。
- ステアリングはタイヤが真っ直ぐになるように調整してからイグニッションスイッチ OFF にし、作業に取り掛かってください。
- エアバッグを外した状態でイグニッションスイッチ ON にすると警告が出る場合がございます。この場合は、エアバッグを戻しエンジンをかけて時間をおくと初期状態に戻ります。

手順1：必ずイグニッションスイッチ OFF にしてバッテリーのマイナス端子を外し、ショートしないように端子の保護固定を行います。  
**作業開始までに1分以上待機して下さい。**

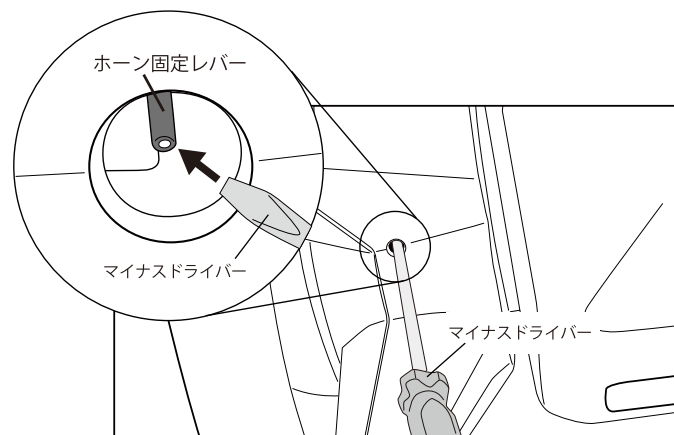
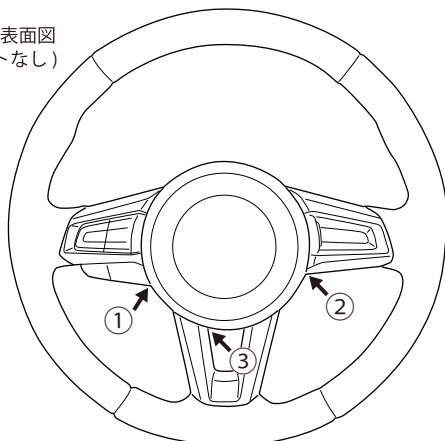
**\* すぐに作業を始めるとエアバッグに信号が送られる可能性があります危険です。**



手順2：図示の順にステアリング穴をペンライトなどで照らしながら黒い固定レバーをドライバーで浮き上がるまで押し、エアバッグを外してください。(全3箇所)

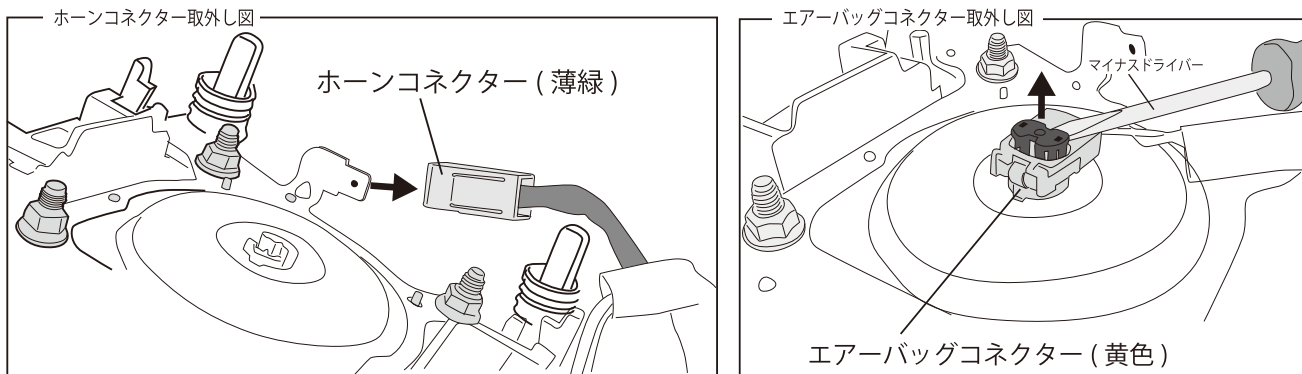
**※ 3つ目のホーン固定レバーを外す際はホーン本体を支えながら取外してください。ホーン本体が落ちて傷が付く恐れがあります。**

ステアリング表面図  
(パドルシフトなし)



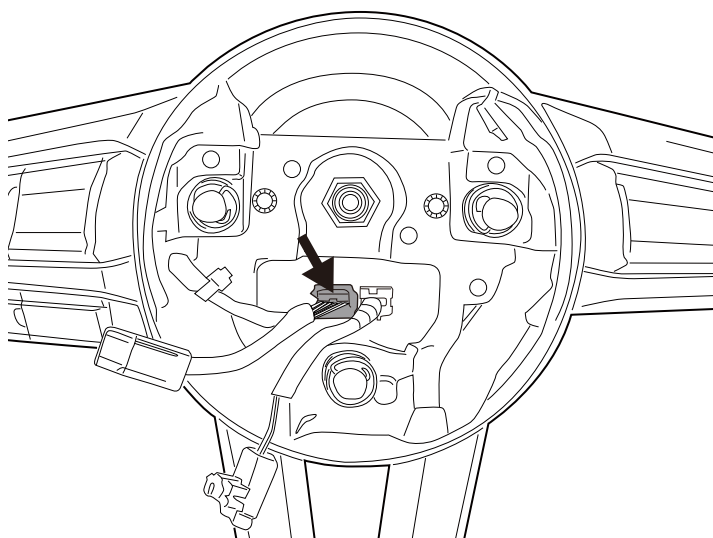
手順3：図を参考にホーンコネクター、エアバッグコネクターを取り外してください。

※エアバックコネクターは黒いストッパーをマイナスドライバーにて外してからコネクターを取外して下さい。



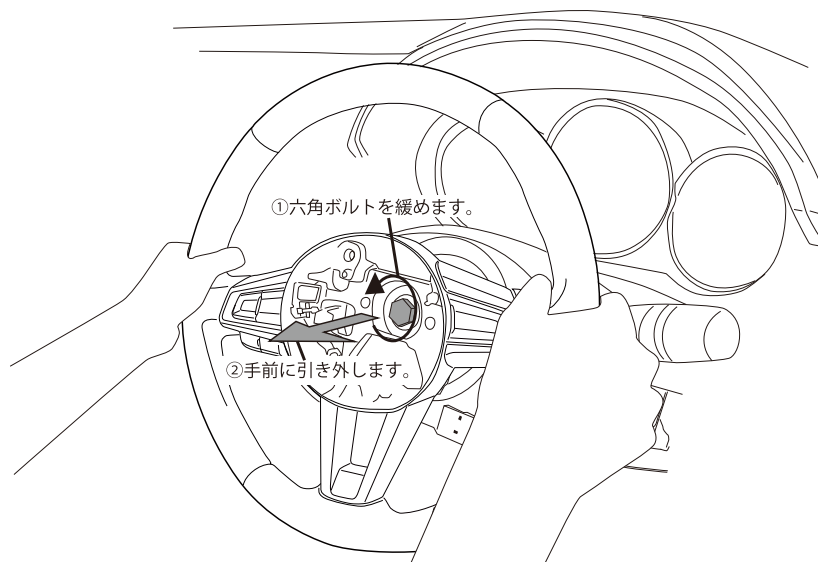
手順4：図を参考にホーンコネクター/スイッチコネクターを取り外してください。

※図はマツダコネクト搭載車両になります。年式、型式によってコネクターの数が異なります。



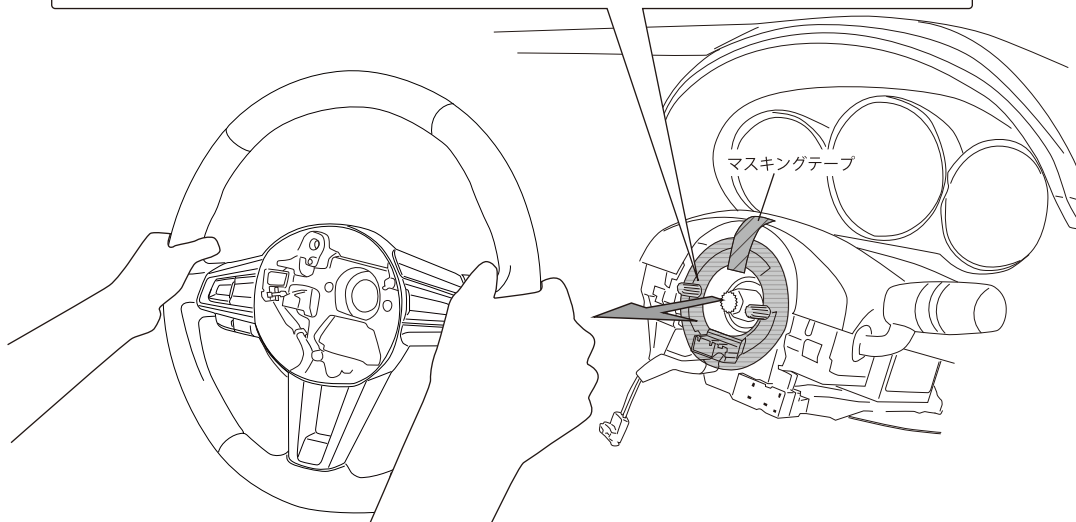
手順5：図の手順を参考にステアリングをセンターに合わせ、21mmのソケットレンチ又は十字レンチにて六角ボルトを5～6回転程回し緩くし、ステアリングを引き外します。

△完全にボルトを外してしまうとステアリングを引き外す際に勢い余って怪我をする恐れがあります。

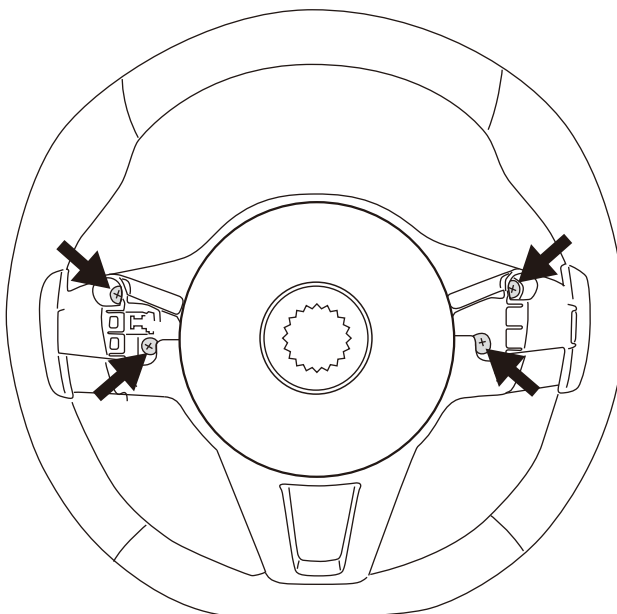


手順6： 手順5にてステアリングを引き外したら、緩めたボルトを完全に取外し、ステアリングを車体から外してください。

△ステアリングを取外した後、図の部分回転しないように、マスキングテープなどで固定して下さい。

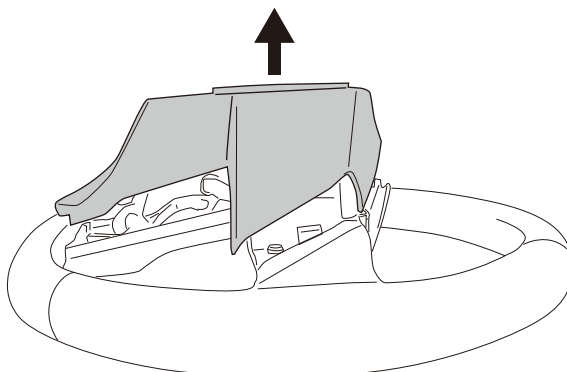


手順7： パドルシフト付きのステアリングは、図示を参考にステアリングカバーのビスを外してください。(全4箇所)



手順8： 図を参考にステアリングカバーを取外します。

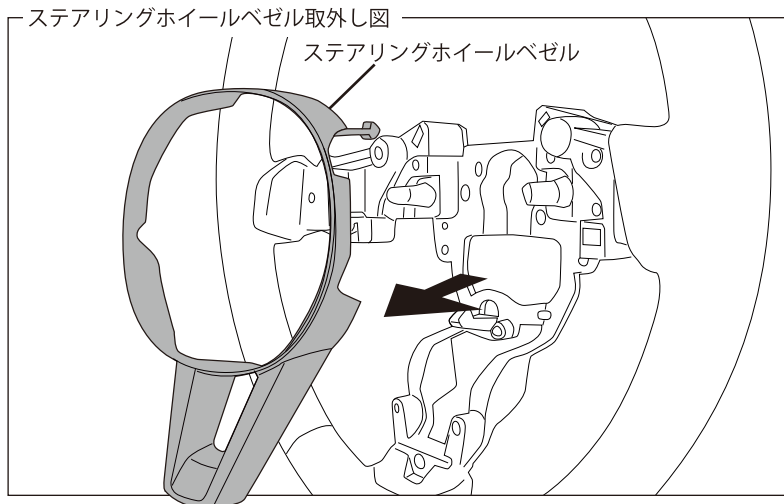
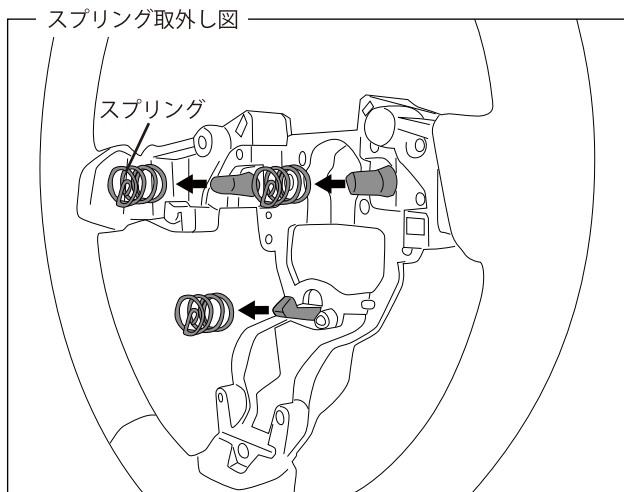
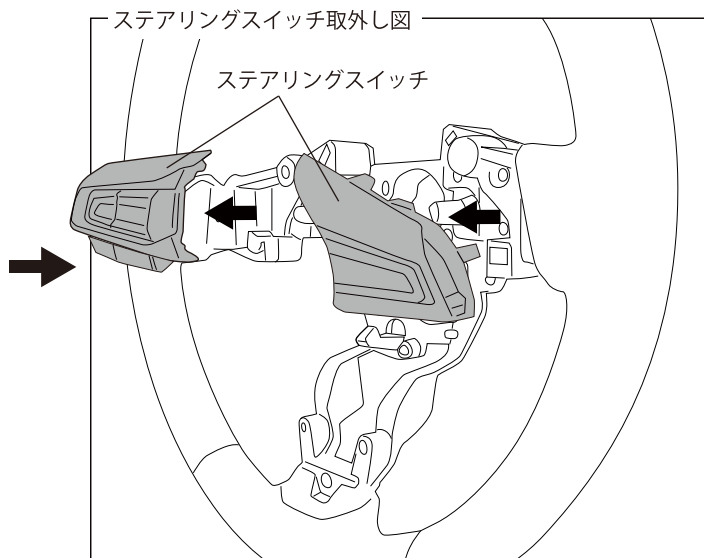
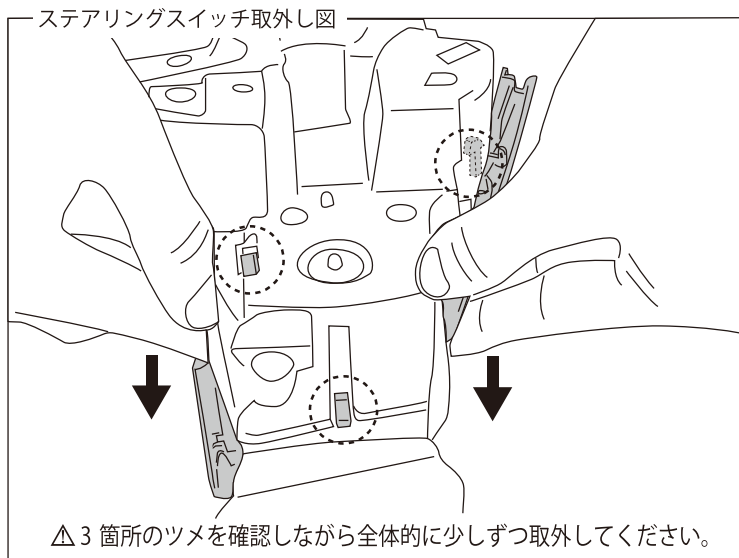
⚠ 非常に硬い為、無理に外すと破損する可能性があります。取り外す際は全体的に少しずつゆっくり取外してください。  
温かい環境で作業することをお奨めします。



手順9：図を参考にスプリング、ステアリングスイッチ、ステアリングホイールベゼルを取外します。



非常に硬い為、無理に外すと破損する可能性があります。取り外す際は全体的に少しずつゆっくり取外してください。  
温かい環境で作業することをお奨めします。



手順10：取外した逆の手順でDAMDスポーツステアリングに各パーツを取り付け、バッテリーのマイナス端子を戻し、ステアリングの取付けは完了です。

お疲れ様でした。